

目的

「AI開発ガイドライン」の策定等AIネットワーク化をめぐる社会的・経済的・倫理的・法的課題に関し、日米欧等の産学民官のステークホルダーが意見交換し、今後のG7、OECD等における国際的な議論を推進することを目的とする。

開催期日及び会場

平成29年3月13日(月)・14日(火) 東京大学 伊藤謝恩ホール(東京大学 本郷キャンパス内)

主な議題

<調整中>

米国、EU、イタリア、ドイツ、フランス、マレーシアの政府関係者やOECDの代表者
AIの分野の国際的な議論をリードする主要団体の代表者を含む国内外のトップレベルの有識者の参加を予定

○ AIネットワーク社会推進会議における検討状況の報告

- ・「『AI開発ガイドライン』の策定に向けた国際的議論のための素案の骨子」(仮) 平野 晋(中央大学教授・大学院総合政策研究科委員長)
- ・「AIネットワーク化の影響・リスクの評価」(仮) 城山 英明(東京大学大学院法学政治学研究科教授)

○ 特別講演

- ・「AIネットワーク化と智連社会」 濱田 純一(前・東京大学総長、AIネットワーク社会推進会議顧問)
- ・「AIネットワーク化の本質と未来」 長尾 真(元・京都大学総長、AIネットワーク社会推進会議顧問)
- ・「AIの人間及び社会への影響」(仮) エリック・ホロヴィッツ(Partnership on AI暫定共同議長、元・米国人工知能学会長)

○ 基調講演

- ・「人工知能の未来に備えて」(仮) エドワード・フェルテン(前・米国ホワイトハウスCTO補佐官)
- ・「AI・スマートロボットの開発及び利用に関する原則とルール」(仮) マイケル・シュパイザー(欧州議会事務局市民の権利・憲法局長)

○ 講演

- ・「AIの高度化がもたらすインパクト」(仮) グレッグ・コラード(Google 社 主席研究員、Google Brain 共同創始者(Partnership on AI 評議員))
- ・「AIの高度化がもたらす社会的・倫理的課題」(仮) ジャン・タリン(スカイプ創業者、Future of Life Institute共同出資者) ほかに

○ パネルディスカッション

「AIネットワーク化のガバナンスの在り方」

「AIネットワーク化がもたらす便益の増進」

「AIネットワーク化がもたらす豊かさと幸せ」

「AIネットワーク化がもたらすリスクへの対応」

「AIネットワーク化と倫理」

シンポジウムの成果を「AI開発ガイドライン」の策定に反映し、G7やOECDなどに発信するとともに、夏頃に報告書を取りまとめる。